

千年の災害に負けない。 農業支援2000プロジェクト

千年に一度とされる今回の大震災および原発事故による影響は被災地だけでなく、日本人すべてが価値観の転換を求められています。まずは、被災地における救援や復興支援が最優先ではありますが、甚大な被災・被害を受けている生産者の安定的な農業生産の維持に向け、個々の生産者への支援が求められています。

世界的な食料不足が危惧されるなか、肥沃な土壌と生産技術を持つ日本の農業生産を止めるわけにはいきません。二千年の歴史ある農業が千年の災害を前にして立ち止まることがないよう、知恵を結集して日本の生産者を支えていきましょう。活動に賛同いただける全国の生産者、農産物直売所などの関係者の皆様、そして日本の生産者、農産物を支えたい皆様のご参加を呼びかけます。

2011年4月1日

2011.5.27更新



プロジェクトの活動内容(予定)

1. 被災・被害地域の農林水産物の販売支援
2. 被災・被害地域での農林水産物の販売斡旋
3. 被災・被害地域の農林水産物・特産品の販売促進
4. 被災・被害地域の農林水産物を活用した一次加工・商品化支援

などを通じて、全国の産地間交流による物販活動を進めるとともに、消費者に対して適切な情報提供による農林水産物の直接販売を通じた生産者支援を行う。

活動例 被災・被害地域の農林水産物の販売支援

実践事例: 地産地消の仕事人のネットワークを活用した被災地域の販売支援

テーマ: 「がんばろう! 福島・東北 つなごう! 直売所の絆」

関係組織: 山際食彩工房(福島県会津若松市)

特定非営利活動法人 素材広場(福島県会津若松市)

生産者直売所こぶしの里(福島県玉川村)

長野県産直・直売連絡協議会(長野県)

安曇野市直売所連絡協議会(長野県安曇野市。市内9直売所加盟)

(財)都市農山漁村交流活性化機構(東京都)

全国農産物直売ネットワーク(東京都)

協力: 福島県農産物安全流通課



内容: 原発事故による風評被害によって消費者や流通業者の買い控えが進む福島県産野菜について、安全性が確認された農産物の販売を支援し、被災地の農家の生産活動を支えていくことを目的に、長野県安曇野市の農産物直売所において常設販売およびイベント販売を実施。全国に先駆けて支援活動を表明した安曇野市直売所連絡協議会の記者会見には多くのメディアが参加し、当日の取材も活発に行われた。

期間: (常設販売) 2011年4月から開始 (イベント販売) 2011年4月16日(土)、17日(日)各9時~

場所: 「プラザ安曇野」「ほりがね物産センター」「三郷サラダ市」「Vif穂高」「あずみのふる里市」各特設会場

販売品目: 福島産農産物(きゅうり、アスパラ、にら、ねぎ、椎茸、いちご)
加工品(漬物、ピクルス、ヨーグルト)等

即売会出席者: 山際食彩工房 代表 山際 博美さん

特定非営利活動法人 素材広場 代表 横田 純子さん

生産者直売所こぶしの里 所長 穂積 俊一さん

産直新聞 編集長 毛賀澤 明宏さん

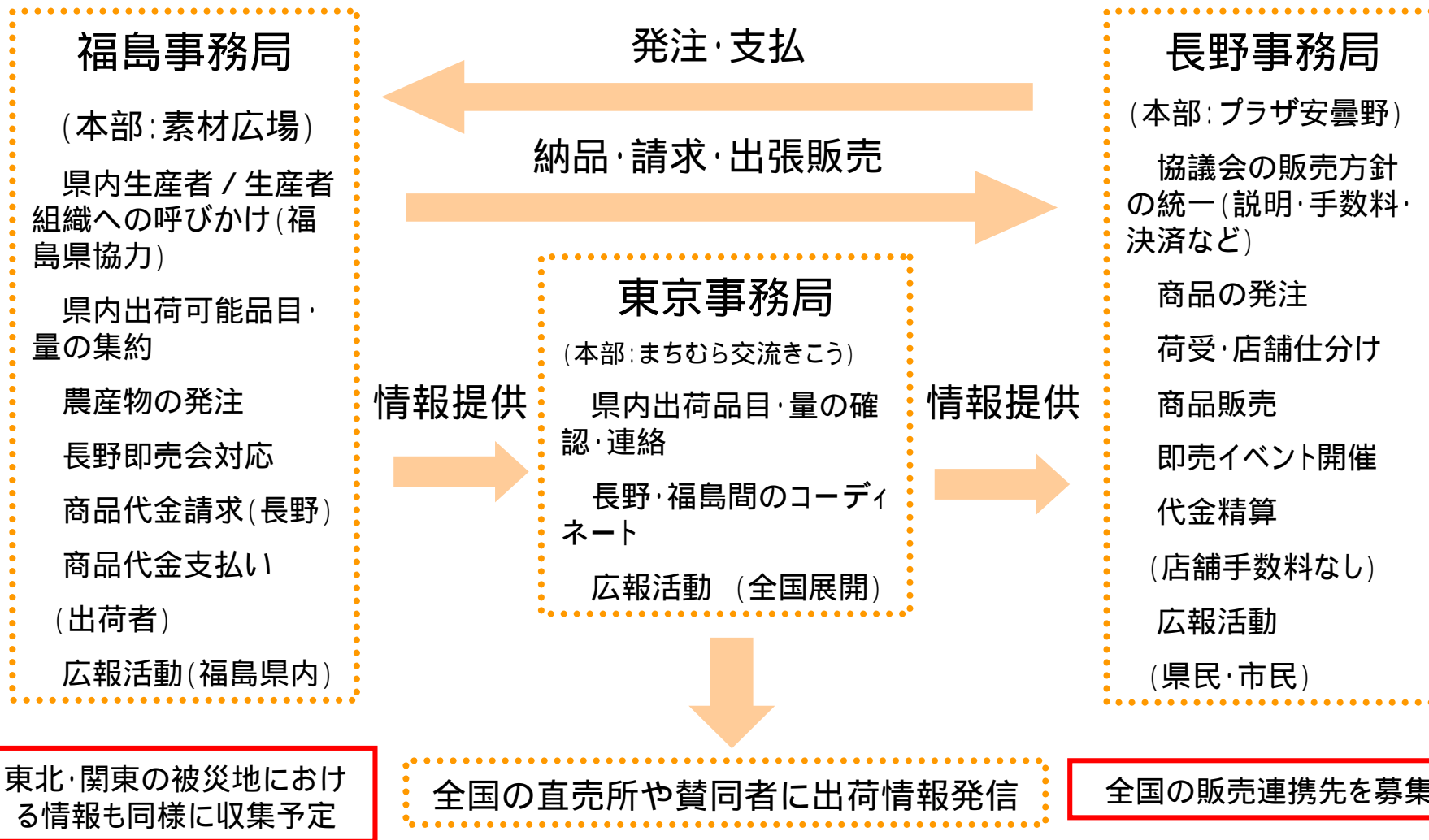
オフィスシンセニアン 代表 勝本 吉伸さん 他



販売金額は2日間でのべ約100万! 福島産品の販売は現在も「プラザ安曇野」で継続中。



活動例 の仕組み



福島県では4月1日から安全性が確認された農畜産物の販売促進を開始しました！

消費者の皆様へ  (平成23年5月21日現在)

福島は“安全で”新鮮な農産物をお届けします。
 皆さん、本県の農林水産業を応援して下さいをお願いします。

福島県知事 佐藤 雄平

福島県では次の農林水産物の放射能測定を実施し、暫定規制値を下回っていることを確認して出荷しております。(収穫時期の関係で放射能を測定していない品目は、掲載していません。)

野菜

葉が重ならず広がった野菜 (ほうれん草、小松菜 など)
○県南地域、会津地域、南会津地域、いわき市で産出されたもの

葉が重なり合って球状になる野菜 (キャベツ、白菜 など)
○県北地域^{※1}、県中地域^{※2}、県南地域、会津地域、南会津地域、いわき市で産出されたもの

アブラナ科の花蕾野菜 (ブロッコリー、カリフラワー など)
○県中地域^{※2}、県南地域、会津地域、南会津地域、いわき市で産出されたもの

カブ
○県北地域^{※1}、県中地域^{※2}、県南地域、会津地域、南会津地域、いわき市で産出されたもの
※1 川俣町のうち山木屋の区域を除く
※2 田村市のうち東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20km圏内の区域を除く

<施設> きゅうり、トマト、ミニトマト、ニラ、アスパラガス、ミツバ、大葉、サヤエンドウ、スナップエンドウ

<露地> ネギ、アサツキ、アスパラガス、ニラ、サヤエンドウ

きのこ

<施設> 原木しいたけ、菌床しいたけ、ナメコ、マイタケ、エノキタケ、エリンギ

<露地> 原木しいたけ
○県北地域 (福島市、伊達市、本宮市、川俣町を除く)、県中地域 (田村市のうち東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20km圏内の区域を除く)、県南地域、会津地域、南会津地域、新地町、いわき市で産出されたもの

山菜

<施設> たらふの芽、山うど **くだもの**

<露地> わらび、たらふの芽、ぜんまい、うど、ふき <施設> イチゴ、さくらんぼ

畜産物

牛肉、豚肉、鶏肉、馬肉、鶏卵

原乳 ○県北地域 (川俣町のうち山木屋の区域を除く)、県中地域 (田村市のうち旧郡路村の区域を除く)、県南地域、会津地域、南会津地域、相双地域 (相馬市、南相馬市 (鹿島区のうち、鳥崎、大内、川子及び塩崎を除く区域に限る)、新地町に限る)、いわき市で産出されたもの

水産物

<養殖魚> コイ、イワナ、ヤマメ、ニジマス、会津ユキマス

福島県



県内スーパー・直売所等での地産地消運動キャンペーン
 東京・八重洲アンテナショップでの即売会
 イトーヨーカドー葛西「アンテナショップ福島」での販促活動
 全国各地での県産品即売会の支援 他

活動例 全国の農産物直売所での販売支援活動

実践事例：全国の農産物直売所のネットワークを活用した被災地域の販売支援

内容：原発事故による風評被害によって消費者や流通業者の買い控えが進む被災地産の農産物や加工品について、被災地の農家の生産活動を支えていくことを目的に全国の農産物直売所において常設販売およびイベント販売を行う。

期間：2011年4月から順次販売開始

実施店舗：

- | | |
|------------------|-------------------|
| 「プラザ安曇野」 | 長野県安曇野市(常設販売) |
| 「道の駅しなの・ふるさと天望館」 | 長野県信濃町(イベント販売) |
| 「ニコリコ」(旧・愛来里) | 長野県箕輪町(イベント販売) |
| 「ふらっと美山」 | 京都府南丹市美山町(イベント販売) |
| 「道の駅かなん」 | 大阪府河南町(イベント販売) |
| 「松坂農業公園・ベルファーム」 | 三重県松阪市(イベント販売) |
| 「クロスロードみつぎ・野菜市」 | 広島県尾道市御調町(イベント販売) |
| 「道の駅泗水・養生市場」 | 熊本県菊池市(常設販売) |
| 「新しい村」 | 埼玉県宮代町(週末販売) |

今後の実施予定：

東京、奈良、愛媛、高知、熊本、長崎他の農産物直売所(調整中)



養生市場(熊本県菊池市)の新聞記事
(熊本日新聞 23年4月14日)



活動例 全国の農産物直売所での販売支援活動の実践例



「クロスロードみつぎ」(広島県尾道市)
地元の学生などがボランティアで販売応援



「道の駅かなん」(大阪府河南町)
GW以降、特設コーナーを設けて応援販売



「ふらっと美山」(京都府南丹市美山町)
特設テントで野菜販売。安全性に関する情報も発信



「新しい村」(埼玉県宮代町)
福島産アスパラや長野県米村の山菜を販売

活動例 首都圏における被災地産品販売イベント

(開催イベント) 「がんばろう日本！元気をだそう！築地から」

日時: 23年4月30日(土) 10:00~15:00予定(売切れ終了)

場所: 築地場外市場 波除通りB棟広場 主催: NPO築地食のまちづくり協議会

協力: 中央区、中央区都市整備公社、テレビ東京、築地本願寺、(財)都市農山漁村交流活性化機構 他

趣旨: 築地市場も関東震災後に立ち上がった市場。今回の震災を受け「食のまち築地としてできる事は何か」と店主達が考え、“産地があつての築地”として、場外初の産直イベントを実施。被災地支援コーナーの産地コーディネートを担当プロジェクトとして実施した。

被災者支援コーナー: 福島県「素材広場」、栃木県「秋山農園」「蕎麦しらさぎ」、茨城県常陸太田市、同坂東市、千葉県旭市、岩手県陸前高田市から「田舎のごっつお」など他にも「ワンコイン市」、「チャリティちゃんこ」、「特製チャリティバンド」などの企画も実施。

被災地支援コーナーの

売り上げは約160万円!



大賑わいとなった築地場外会場



茨城県常陸太田市の野菜販売



千葉県で最大の被害を受けた旭市



福島きゅうりの「カッパラー」を販売

(開催イベント) 「農業支援2000プロジェクトin葛西」

「千年の災害に負けない。がんばろう農業 ~被災地の農産物を買って、食べて、支えよう~」

日時: 23年5月4日、5日 11:00~(売切れ終了)

場所: 葛西臨海公園(江戸川区) 主催: 東京都公園協会 他

コーナー主催: (財)都市農山漁村交流活性化機構、コスモファーム

協力: 日本野菜ソムリエ協会

約20名の野菜ソムリエの皆様がボランティアで販売応援してくれました!

出展団体: 福島(南相馬・相馬の生産者、素材広場と山際食彩工房)

茨城(ファーマーズマーケットほくそう、特用林産振興会)

栃木(マルシェとちぎメンバーの生産者)、コスモファーム



2日間の売り上げは
約110万円に!

全国展開に向けた活動の考え方

東北・関東の被災地を中心に情報収集

直売所組織・生産者組織・
生産者・自治体等

会員生産者への呼びかけ
出荷可能品目・量に関する情報提供
農産物の受注 / とりまとめ発送
商品代金請求
商品代金精算
広報活動(当該地域)

情報提供



発注・支払

情報を集約し、全国の販売先とコーディネート

東京事務局(本部:まちむら交流きこう)

出荷品目・量のとりのまとめ
情報の集約・公開・広報
個別コーディネート・斡旋

注文受付

産地発注・配送確認

請求・支払い

赤字部分を事務局が担う場合は、手数料徴収予定

納品・請求・出張販売等



発注・支払



全国の直売所や賛同者に出荷情報発信



全国の直売所等趣旨賛同者(物資の販売先)

仕組みの確認(説明・手数料・決済など) 商品の注文・荷受 商品販売(支援イベント開催等)
代金精算(店舗手数料は各自判断)

プロジェクトにご賛同頂ける皆様を募集しています

趣旨にご賛同頂ける企業、団体、個人など

農産物の販売や使用にご協力頂ける、全国の直売所、道の駅、小売店、飲食店、宿泊施設など

農産物の加工などにご協力頂ける農産加工所、実需企業など
都心部での即売会などに協力頂ける企業・団体、個人など

農産物の売り先を求めている被災・被害地域の生産者組織の方は
ご相談下さい

(財)都市農山漁村交流活性化機構・全国農産物直売ネットワーク

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階

TEL 03-4335-1983 FAX 03-5256-5211

e-mail: chisan@kouryu.or.jp

まちむら交流きこう ホームページ: <http://www.kouryu.or.jp/>